

SDGs 実践例紹介コーナー

当所では、会員事業所の皆様の SDGs 経営のサポートとして『SDGs 取組診断』サービスを無料で実施しています。SDGs 経営は、「新たな市場の開拓」「売上の増加」「他社との差異化」「企業イメージの向上」「従業員の定着率向上」等、SDGs へ取り組むことで得られるビジネスチャンスもあり、SDGs への関心も高まってきています。すでに取り組み始めておられる事業所様も、何から始めていいかわからず取り組めていない事業所様も、まずは自社の現状を把握することが重要です。当所では、東京海上日動火災保険(株)の協力を得て、診断サービスを「無料」にて提供致します。是非、ご活用ください。

今月のSDGs実践例紹介:NPO法人にわたりの会



STEP 01 きっかけ

2010年に外国人児童を担当したことがきっかけでした。それまで30年間、小学校教師として教育現場に立ち続けてきましたが、これまでとは全く異なる課題に直面し、何か手を打たなければならないと痛感したことを覚えています。

STEP 02 2つの秘訣

- ①課題を直視・深掘りし、解決の手立てを考えること
(目に見えているものを常識に当てはめるのではなく、目に見えないものを当事者の立場に立って考えること)
- ②多くの人に相談し、時には助けをもらうこと
(目標を持って一人でできることからスタートし、できる人を巻き込んで解決へ向かうこと)



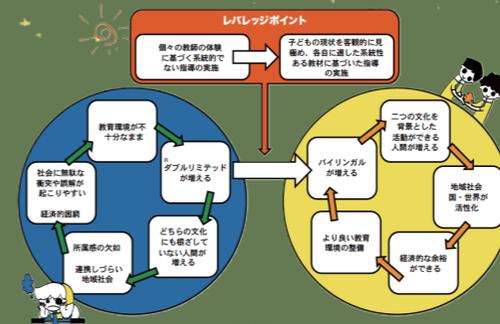
STEP 03 結果

活動自体が SDGs に直結していたということもありますが、世界的なスタンダードとして定義付けられたことで、より活動に広がりを持てるようになりました。



●負のスパイラルからの脱却

漢字を絵として覚えていた子、音読み訓読みを理解できない子、多くの外国人児童がつまづくのは「漢字」です。今日の学校教育において進学や就業に漢字の読み書きは欠かせないため、漢字が読めないと進学などの可能性が狭まり、その子の能力を發揮できる場が少なくなると同時に望む生き方が難しくなり、どんどん孤立してまいります。そうした負のスパイラルから脱却するための教育事業を行っています。



●新しい教材の開発

多様な母語に対応した教材を開発しています。家庭学習が可能で、音声が出ることによって日常的に使える学びを提供できるように配慮されています。特に注力したのは「学習する順番」。従来の教科書に記載されている順ではなく、画数や意味など、つながりを持って覚えていくことが可能です。イラストも入れて、楽しく学べるようにしました。



●地域への貢献

入管法の改正などで外国人労働者が増える中、社会的な問題も提起されています。まずは外国人児童が楽しく学べる教育環境を作ることで、将来的な社会不安をなくし、地域経済の安定化につながっていくと考えています。

お願い

私たちの活動は多くの企業や人々の寄付から成り立っています。当団体へ協力いただくことで、SDGs 達成に向けての一步ともなりますので、皆様からの温かいご支援をおまちしております。



団体概要

2013年創立。小学校教師として受け持った外国人児童教育の課題に対し、教材開発、語学教室ボランティアなどを実践している。2012年日本語教育国際研究大会にて「日本語能力を高めるための小学校低学年配当漢字指導法」を発表。2017年には「音の出る漢字カードで楽しく漢字学習」にて、白川静漢字教育優秀賞を受賞。2020年には小牧市教育委員会との業務連携を行う。受賞で得た助成金等は教材の開発・作成費に利用し、さらなる外国人児童教育の改善に取り組む。



代表 丹羽典子

中小企業支援ナビ代表理事

中小企業診断士

「生きづらい環境で育つ子供たち」を「グローバル人材」へと変えるチャンスに満ちた素晴らしい取り組みですね。SDGs が目指す『誰一人取り残さない』グローバル社会へ向けた新たな教育ビジネスとして民間企業との事業連携が期待されます。



長谷川 雅彦